

カムナ通信

vol.67



発行日:令和7年1月1日
 (毎月1日発行)
 発行人:青木敬司
 株式会社カムナ・プランニング/東京都文京区目白
 台2-9-7-503
 電話:03-3942-8633
 info@kamuna-p.jp
<http://kamuna-p.jp/>
 コピー、転載、引用、配布
 はご自由にどうぞ。

あけましておめでとうございませう。今年の干支は「乙巳(きのとみ)」で、これまでの努力がようやく実を結び始める年になるようです。蛇のように柔軟に、脱皮を繰り返すように成長、発展する一年にしたいと思ひます。引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

今月は、人気急上昇中の「くま笹珪素ウィルプラス」をご紹介します。きっかけは、ユーチューブや書籍で取り上げられたことのように、それからお手紙やお電話をいくつもいただき、嬉しいお声を聞かせていただきました。いくつかご紹介いたしますと、ある方は家族全員の飲み物などに2〜3ふりしてお召し上がりいただいたところ、一年中鼻を詰まらせていた大学生のお孫さんの鼻炎が消えてしまったというのです。お孫さん曰く「何だか分からないけどいつの間にか良くなった」と。実はお家で飼っている愛犬に与えていた副作用が和らいだという思いから使い始めたそうですが、今では愛犬もお孫さんも元気いっぱいのご様子です。このお手紙に書かれていた興味深いメッセージが「クリーニングをしてメモリーが消えたら症状も消える」とはこういう事なのかなと思ひました。勝手に最強のクリーニングツールとして、家族で大切に使用させていただきます」というもの。この「グリーンニング」というのは、ネイティブハワイアン(先住民)の伝統的な問題解決法「ホ・オポノポノ」に出ている言葉で、潜在意識の記憶をクリーニングすることで身のまわりの事象を根本的に解決する手法です。ホ・オポノポノを日本に広めたイハレアカラ・ヒューレン博士は、著書



「豊かに成功するホ・オポノポノ」で、「わたしは日本人のなかに『安全な食べ物を作る』という大きな役目が出てくるのではないかと思っています。(中略)実は、日本人に与えられている使命の一つに『なにか食べ物で、情報がすべて消去されるものを作り出す』ということがあるのです。日本人はその才能が与えられている唯一の民族なのです。」と記されています。「くま笹珪素ウィルプラス」の元になった「くま笹珪素」の初代開発者でおられる川口哲史さんは、戦後の日本人の食の乱れを危惧され、正に「食のクリーニングツール」としてこの商品をお作りになりましたので、その思いが商品を通して伝わっていると知り、嬉しくなりました。

また、断食をされている方からは「この商品は宿便を出す働きがあると思います。ぜひ検証してください」とも。きっとその様な体の変化を体感されたのでしょう。宿便を排出することの大切さは、医学博士で断食療法を推進された甲田光雄先生が唱えられ、難治性の不調の改善に数多く貢献されました。私たちには検証する術が少ないのですが、それを裏づけるような体験談は多く、最も多いのが、「トイレタイムがスムーズ」「お腹がすつきりして軽い「िकासみたいのが出る」など。極めつけは「便臭が消えちゃいました」と。この商品で私も実感したのですが、本当に気持ちのいい排便をした後は、驚くほど体が軽くなります。ふと気づくと口笛を吹いていることもあり、体は正直だなど感じます。健康の秘訣は「入れることより出すこと」です。このようにして体の中の循環が良くなると、健康も感性も運氣も良くなりますので、ぜひお試しください。本音が喜びに満ち、笑顔いっぱい的一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。いつもありがとうございます。

株式会社カムナ・プランニング 青木敬司

NEWS & TOPIC KAMUNA PRODUCTS



食べる前の“ひとふり”で、健康も美容も幅広くサポート！
 進化した食のクリーニングアイテムで笑顔あふれる毎日を☆

くま笹珪素 ウィルプラス

くま笹珪素ウィルプラスは、日本の薬膳文化に伝わる“食べ合わせの知恵”をベースに、くま笹やドクダミなど日本の風土が育んだ機能性に優れた植物をはじめ、新次元の乳酸菌「還元発酵乳酸菌」や、古くから伝わる発酵技術を用いてつくられました。食品や飲料を風味豊かにグレードアップする働きや、食品添加物などの気になる影響を和らげる働き、抗菌・抗ウイルス作用など、暮らしの様々なシーンに貢献します。食べる前、飲む前、何にでもこれをひとふり。健康と若々しさを維持して、元気で笑顔あふれる毎日を送りましょう！

有機珪素(シリカ) + バイोजェニックス + 還元発酵乳酸菌

三位一体のトリプルパワー！

さらに、日本に古くから伝わる味噌と醤油づくりの知恵を応用し、原材料を分解する麹発酵(好気発酵)と、再合成する乳酸発酵(嫌気発酵)を用いた独自の二段階発酵を行い、天然原料の機能性と波動性を高めています。

<有機珪素(シリカ)> 私たちの体や動物・植物などあらゆる生物に含む、生体をつくる上で最も基本となるミネラル。体内の珪素量はストレスや加齢に伴い減少するため、食を通して取り入れる必要があります。健康と若々しさを象徴するミネラルでもあります。

<バイोजェニックス> バイोजェニックスは微生物の代謝物質で、腸内環境を整える働きに加え、免疫作用、コレステロール調整作用、血圧調整作用などが期待できると言われています。健康美容効果に優れた夢の天然成分として多方面で注目されています。

<還元発酵乳酸菌> 12種類の乳酸菌を水素と海洋深層水を加えた還元型環境で熟成発酵させ、さらに梅エキスを添加して抗菌ペプチドを増強させた乳酸菌発酵原料です。乳酸菌は腸内の善玉菌に働きかけて腸内環境を整え、抗菌ペプチドは免疫アップのサポートをします。

～ 全成分天然由来！
 大自然が育んだ機能性ゆたかな食品原料～

すべて国産原料を使用！保存料、着色料、香料、酸化防止剤、遺伝子組み換え作物は使用していません。



【くま笹】
珪素を多く含む神聖なイネ科の植物。



【ドクダミ】
古くから毒消し作用が知られる植物。



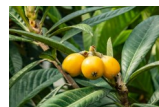
【稲若葉】
食物繊維やミネラル、アミノ酸も豊富。



【赤紫蘇】
栄養価の高さは群を抜く、紫色の蘇る草。



【乳酸菌】
14種の乳酸菌を還元環境で培養。



【びわ葉】
現代医療に影響を与えた歴史ある植物。



【スギナ】
ミネラルを多く含む生命力豊かな植物。



【化石サンゴCa】
70種を超える海洋ミネラルを含むCa。



【風化貝Ca】
1800万年前の断層から取れる上質なCa。



【梅エキス】
独自の濃縮ポリフェノールでペプチドを増強。

■くま笹珪素ウィルプラス 35g入 6,700円(税込)

原材料:馬鈴薯澱粉(国内製造)、くま笹(チシマザサ)、稲若葉、ドクダミ、赤紫蘇、びわ葉、スギナ、化石サンゴカルシウム、風化貝カルシウム、塩、デキストリン、乳酸菌発酵エキス(黒糖培地・乳酸菌)、梅エキス、海洋深層水

ご使用の目安:1日あたり1g(20〜30ふり・ティースプーン半分ほど)を目安に、食べ物や飲み物にふりかけて、または直接お口に含んでお召し上がりください。 ※約900ふりできます。

Information & 広場

くま笹珪素ウィルプラスにまつわる気になるおはなし



くま笹珪素ウィルプラスの開発者

波動研究家 山梨浩利さんからのメッセージ



山梨浩利さん

「くま笹珪素ウィルプラス」は、古くから日本に伝わる発酵の知恵を用いて製造しています。原材料を発酵させる理由は二つあり、その一つは、本来からだに吸収されにくい珪素(シリカ)を始めとしたミネラルを、吸収しやすい状態に変えるためです。有機ミネラルという言葉聞いたことがあると思いますが、これは鉱物であるミネラルを、植物や微生物などの生命体に摂取させて有機化し、人体への吸収を高めたものです。これをさらにからだに馴染む状態に変える知恵が、日本が世界に誇る発酵技術です。

二つ目の理由は、発酵の過程で微生物が生み出す代謝物質(バイオジェニックス)を有効活用するためです。これを生体に取り入れると、体内の環境は整い、心身ともに調和した状態に導かれます。心身ともに励起され、エネルギーが湧き上がることであります。発酵は、生体に喜びと感動を与える知恵と言っても過言ではありません。

実際の発酵工程においては、日本の食文化の基本的な役割を担ってきた麹菌を用います。日本の風土が育んだ麹菌は、日本の国菌でもあります。これを代々伝わる味噌と醤油づくりの知恵を応用し、原材料を分解する麹発酵(好気発酵)と、それを再合成する乳酸発酵(嫌気発酵)を用いた独自の二段階発酵を行います。それぞれの発酵工程を通して、微生物が生み出すバイオジェニックスを一層有効活用できるようになりました。

さらに今回は乳酸菌とのコラボレーションを行いました。発売元のご縁で候補に上がった還元発酵乳酸菌です。HADO-Value計測を行ったところ、高い波動と優れた機能性を兼ね備えていることが明らかになり、採用することにしました。

「くま笹珪素ウィルプラス」は、腸内細菌の働きを活性にする有益菌を取り入れるプロバイオティクスと、腸内細菌の働きを促す繊維質等を用いるプレバイオティクス、さらに微生物群が生み出す有益な代謝物質で生体を躍動させるバイオジェニックスといった、腸内環境を整えるすべての要素を取り入れています。試作を繰り返す中で、

HADO-Value計測値が過去最高をマークし、自然の摂理との調和度の高い新次元の商品として完成しました。

「くま笹珪素ウィルプラス」は、くま笹をはじめとした機能性の高い植物から得られる有機珪素と、微生物の活動によって生まれる、生体を躍動させるバイオジェニックスを取り入れる、健康と美容のパートナーとして活用していただければと思います。特に珪素(シリカ)は、最も注目されているミネラルの一つです。生体の活性化だけでなく、感性や直感、インスピレーションといった神秘的な働きに関わる松果体を蘇らせることで注目されています。

人生を豊かにするための高い波動と、幅広い機能性を兼ね備える、日本の風土が育んだ叡知の結晶とも言える「くま笹珪素ウィルプラス」をぜひお役立てください。

■シングレス増量キャンペーン実施中!

ゆく年くる年のキャンペーンといたしまして、シングレスを購入された方にもれなく増量ボトルをプレゼントしています。より良い一年をスタートするために、癒しと幸運をもたらすイヤシロチづくりにお役立てください。(2025年1月20日まで)



- シングレス(300ml)ご購入で60mlボトルを1本プレゼント!
- シングレス詰替用(1050ml)ご購入で150mlボトルを1本プレゼント!
- シングレス濃縮液(500ml)ご購入で150mlボトルを2本プレゼント!

■今月のプレゼントは くま笹珪素ウィルプラス です!

商品をお買い求めいただいた方にもれなくプレゼントしている恒例の企画。今月は、本号で紹介した「くま笹珪素ウィルプラス」(3g・3日分)をプレゼントします。食品や飲料の風味をグレードアップさせる働きや、食品添加物などの気になる影響を和らげる働き、抗菌・抗ウイルス作用、抗酸化・抗糖化作用など幅広くサポートします。食べる前、飲む前の“ひとふり”。ぜひお試しください! (2025年1月31日まで)

感動のおすそ分け

「mRNAワクチン」は、神か、悪魔か?

今月の一冊で取り上げた本の3章に書かれている、mRNAワクチンの数々の「常識外」について、要点を抜粋しながら紹介したいと思います。

その「スピード」 ワクチン開発には最低でも10年かかるのは業界の常識。中でも最も時間がかかるのは臨床試験で7年かけることも。ワクチンは健康な人に打つため取り分け高い安全性が求められるはずが、なぜF社は10か月という異例のスピードで実用化したのか…。

その「大臣の発言」 mRNAワクチンを推進した大臣の発言は信じられないほどの驚きだった。「mRNAは半日から数日で分解される」「ワクチンでつくられるスパイクタンパクも約2週間以内にはほとんどなくなる」。これは理論的な設計思想であってエビデンスは無し。人で実証したことも無し…。

その「驚異の有効性」 初期型コロナワクチンの有効性が、F社は95%、M社が94%。インフルエンザワクチンのそれが4〜6割からすると驚異的な値。これが事実ならコロナウイルスを恐れる必要などないはずだが、実際は年代によっては接種者の方が感染率が高いのはなぜ…。

その「強い副反応」 特筆すべきは発熱の高さ。38℃超えは珍しくない上に、頭痛や倦怠感に悩まされる方も。そのうち「ある程度は覚悟を」とアナウンスされ、やがては発熱対策に解熱鎮痛剤の用意を求められる始末。極めつけは「発熱や体調不良に備えて数日会社や学校を休めるように調整を」とどんだけ…。

その「捏造級のデータ」 mRNAワクチンの接種を先行した欧米で明らかになっていった心筋炎や心膜炎のリスク。コロナに罹患して生じるリスクと、ワクチン接種で生じるリスクを比較したデータを見ると、比較する年齢も比較の方法も違っていてコロナ感染リスクを大きく見せている。これが製薬会社だったら業務停止命令級…。

さらには「ワクチン接種者と未接種者の陽性率のデータに作為的」としか思えないトリックが明らかになって集計し直し「コロナワクチンだけは有効期限を延ばしてもOKなのはなぜ?」など、驚くほどの常識外の数々。著者が曰く、これまでの業界の常識では、2例目の死亡報告が出た時点で一旦接種を中止して広く注意喚起すべきだったと。また一つ大事なことを教えていただきました。



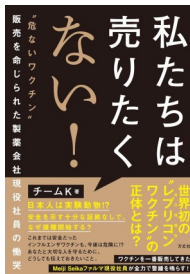
私たちは売りたいくない!

“危ないワクチン”販売を命じられた製薬会社現役社員の慟哭

チームK 著 方丈社

今月の1冊

日本で一番ワクチンを販売している製薬企業MeijiSeikaファルマの現役社員による、コロナワクチンことmRNAワクチンの疑問点や危険性、また次世代型mRNAワクチンと呼ばれる自己増幅型(レプリコンワクチン)が世界に先駆けて日本で承認され、定期摂取に至った不可解な現実について赤裸々にまとめられた著作。事の発端は、当時26歳の著者の同僚が2回目のコロナワクチンを接種した後、亡くなり、国から正式に被害者認定を受けたこと。この事実が著者を動かし、すでに公表されている公的データを収集すると、厚労省や製薬業界の倫理観の欠けただけでなく、ワクチンそのものの安全性や有効性が担保されていない事実が次々と明らかになります。同僚の死を無駄にしないため、新たな薬害事件に発展させないために問題提議をする命懸けのメッセージの数々。コロナ騒動を振り返る上でも、また自身の命を自ら守るためにも読んでおきたい貴重な一冊です。



カムナ・ナウ

先日会社のバルコモニの木にアゲハ蝶の幼虫を見つけて、楽しみに観察していたのですが、ある日みんないなくなっていました。ところが年末の大掃除で発見しました!! なんと植木鉢の台座の下や、窓のサッシの下の方で生き延びていたのかと思うと感動するやら嬉しいやら。暖かくなったら今度はまた違う姿を見ることができるとかな〜

(ゆ)